

伊藤 ゆきひろの ちょこっとタイム



後援会便り <No.24号> 2013年 2月1日発行

ごあいさつ

風も凧いだ2月の午後、心ともう春がやって来たかと勘違いするような日があります。凍てついた大地が“光の春”を的確に捉えて、その懐にエネルギーを蓄えているような気がします。

新政権が打ち出した成長重視のデフレ脱却政策は輸出産業に重石となっていた超円高を一先ず緩ませ、私共自動車産業関連にも春の兆しを感じさせます。

今や自動車関連では545万人が働き、全雇用の9%を占める程の雇用を創出しています。

今年はその自動車を中心とする日本のものづくりの力が、問われる年となるかも知れません。

一方 デフレ脱却政策については、消費性向の高い 中所得者層を増加させ、潜在需要の喚起が必要です。

不安定な雇用形態の改善や、子育て教育などの支援施策に力を入れるなど、暮らしの安心に向けた諸施策としっかり向き合い、景気を好循環させる仕組みづくりに微力ながら心血を注いで参ります。



刈谷市議会議員



【後援会事務所】

刈谷市一里山町金山100番地
(トヨタ車体労働組合内)

Tel. 0566-36-3870

Fax. 0566-36-6272

E-mail itou@bwcom.or.jp



歳時記

- 2月 3日(日) 節分
- 4日(月) 立春
- 8日(金) 針供養
- 9日(土) 初午・初午大祭
- 11日(月) 建国記念の日
- 14日(木) バレンタインデー
- 18日(月) 雨水

立春の名を聴くだけで、何か希望の光が差すように感じられます。

この日は様々な行事の起点となり、八十八夜、二百十日等生活習慣にも関わりますが、受験生やご家族には終盤戦の時期ともなりましょう。

温かくして風邪など召されぬよう充分にご自愛下さい。

伊藤ゆきひろの ちょこっと情報 !!



刈谷 良いトコ ♪



縦2m×横5mの巨大なモザイク壁画からは溢れる熱気に飛び散る汗や、からだ中にジーン響く勇壮な和太鼓の音までが聴こえて来そうです。子ども達の力作が並び 小さなアートストリートさて、ここはどこでしょう？

1/1発行の<No.23>の答えは、刈谷市総合文化センターでのアトリウムコンサートでした。

演奏は金城学院高校ハンドベルクワイア。大小様々なベルのあらゆる奏法を駆使した音色は、フロアに詰めかけた多勢の聴衆を魅了しました。



" 暦 " への招待 ☆

寒い寒い2月です。ひとは暖かな部屋にこもり、動物は冬眠し、樹々は その命を堅く閉ざして 深い眠りに着いています。

2月の日数が他の月より少ないのは、春を待ち侘びる ひとの想いのせいでしょうか？ いいえ、これには理由があります。

古代ローマ帝国では、作物の芽が吹く春が一年の初めに相応しいとされ、暦は3月に始まり 2月は一年の最後の月に 置かれていました。

現在の西暦(グレゴリオ暦)の基になるユリウス暦では、奇数月が大の月(31日) 偶数月を小の月(30日) としましたが、制定したユリウス(英名ジュリアス・シーザー) 本人の誕生月が小の月となる為、最終の2月から1日取り その名もユリウス(英名July) としました。

その養子でアウグストゥスの称号を授けられたオクタヴィアヌスも自分の誕生月8月を父に倣い“大の月”にしたため、同様に2月から取り名をアウグストゥス(英名August)に。短い2月に閏年を当てました。強大な権力を誇ったローマ帝国の権勢は、暦にまで表れています。

2月の行事予定

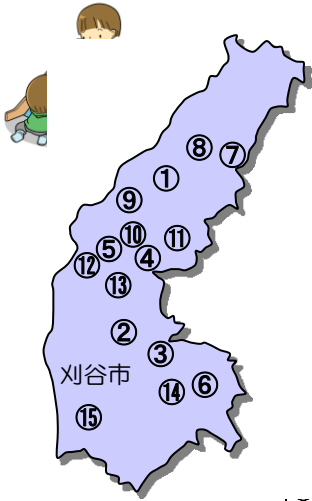
- 2月 3日(日) こども会大会
- 5日(火) 婦人会大会
- 12日(火) 議会運営委員会
- 14日(木) 本会議(来年度予算案説明)
- 15日(金) 委員会案件6者会議
- 27日(水) 3月定例議会～3/22日

“まじめに、コツコツ、
即行動”
頑張ります!!



1月のフットワーク

子育てを支援する刈谷市の公共施設と活動の紹介



■ 行政が子育てを支援している施設

子育てに悩む 保護者への相談や、子どもの交流や遊び場を提供していますので、お気軽にご利用下さい。

施設名	会場	内容
① 北部子育て支援センター	「あかとんぼ」	子育てに関する相談 各種イベント開催
② 中央子育て支援センター	「つくしんぼ」 (総合健康むすび2階)	〃
③ 南部子育て支援センター	「さくらんぼ」	〃
④ かりがね子育て支援センター	きらきら広場	親子が集う遊び場 イベントも開催 病児・病後児保育
⑤ 小山託児ルーム	すくすく広場	親子が集う遊び場 イベントも開催
⑥ 東刈谷児童館 (東刈谷市民センター内)	のびのび広場	〃

■ 地域の子育て支援団体が活動している施設

幼児をもつ親子の交流の場、親子で楽しめる絵本の読み聞かせや遊びなど、地域の皆さんが考えた楽しいイベントをしています。

一里山市民館	⑪ 一ツ木福祉センター	⑬ 小迫江市民館
今岡日向集会所	⑫ 小山集会所	⑭ 南部子育て支援センター
⑨ 泉田市民館	⑬ 高津波市民館	⑥ 東刈谷市民センター
⑩ 築地市民館	⑭ 南部生涯学習センター	

<注> 利用日時またはイベント開催日時については、それぞれの施設で異なりますので、現地または刈谷市のホームページでご確認下さい。

■ かりやしファミリー・サポート・センターの活動

子育てを応援してほしい人(依頼会員)と子育てを応援したい人(援助会員)が会員となり地域で助け合う会員組織です。
<主な活動内容> 保育施設への送迎・通院、学校行事、趣味、等の時に子どもを預かる等の支援活動。

■ 育児ママ訪問サポート事業

乳幼児を持ち とじこもりがちな母親に専門のサポーターが家庭を訪問し、子育てに関する相談や育児・家事を一緒に行うことで、母親の心の安定と子どもの成長を育む活動。

平成24年10月から活動をスタートしました。
12月末現在で41名のサポーターが登録され

■ 子ども相談センターが開設します。

平成25年4月から開設(旧社会教育センター)

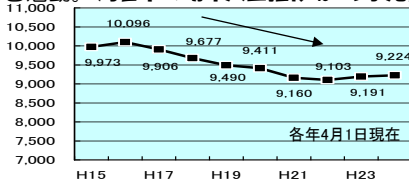


子どもに関する悩みや相談事の総合的な窓口機能(ワンストップ)と、難しい問題を専門機関とも連携してコーディネートする施設です。

若い人が安心して子育てができるよう様々な支援施策を行っている。
子どもは将来の宝、少子化対策は今後も重要課題として、多様な観点で対策を講じていかななくてはならない。

H13年1月から活動しています。
<今年度の会員数> 12月末現在
(依頼会員) 1995人
(援助会員) 246人
(両方会員) 166人
<これまでの活動件数>
H13年からの援助活動件数は、**48,859件**に達しています。

■ 刈谷市の幼年人口推移(0~5才児)

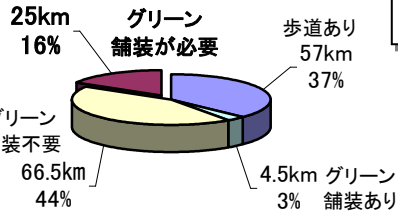


刈谷市の通学路安全対策の状況

昨年は京都府亀岡市や千葉県館山市で登校中の児童に車が突っ込む悲しい事故が相次いだ。刈谷市は、従来より通学路の安全確保には力を入れて取り組んできたが、現在は更に一層の対策強化を図るための様々な施策を急いでいる。

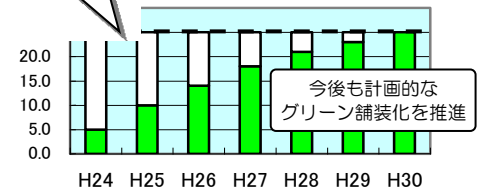
■ 通学道路のグリーン舗装(緑色の歩行帯)への取組み

小学校の通学路全長 153km



グリーン舗装が必要な距離

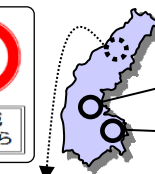
■ 今後のグリーン舗装目標



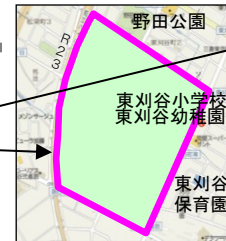
■ ゾーン30の取組み

「ゾーン30」とは、歩行者や自転車優先される生活道路の安全対策として、一定区域内の自動車の最高時速を30キロ以下に規制する区域のこと。

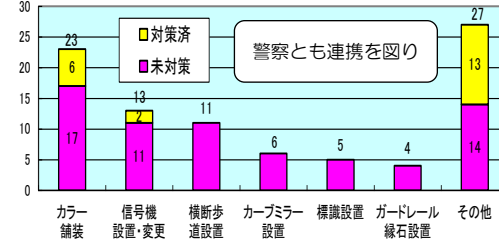
H24.12.25日～施行



H25年度には
中手町付近を検討

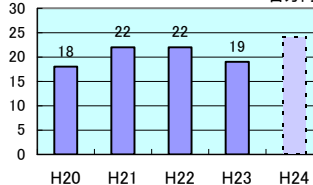


■ 平成24年通学路安全総点検結果



子どもたちが安心して登下校できる通学路の安全環境の整備は、最優先の課題と考えます。
一方、車の交通ルール遵守は当然ですが、子どもたちの交通安全教育も行政の重要な取組みと考え、今後の改善進捗も合わせしっかりと見て参りたいと思います。

■ 刈谷市の通学路改善予算の推移



■ ちょっと情報

平成25年は
刈谷城築城**480**年です!!

キャッチフレーズは、
「戦国ロマンに想いを寄せ 未来へ夢を紡ぐ」

ロゴマーク



マスコットキャラクター

キャラクターの
名称を募集します。
2月1日号の市民
だよりをご覧ください。

